

人事労務部門 リーダー 課長 養成講座

～実務家として施策の根拠と経営の意思を踏まえて対応するために～

人事労務部門のリーダーとして、現場の問題に判断を下し、人事労務施策を立案できる力を養成するための講座です。そのためには、法律や規則の解釈を知るだけでなく、会社の立場を踏まえた考え方、この国の労働慣行、人事労務の常識などの知識を体系的に学び、会社として「何をしたいのか」を形にする応用力を身に付けます。

また、知識を習得するだけの講義形式だけではなく、演習を交えながらわかりやすく解説しますので、是非この機会にご参加ください。

対象

- 人事労務部門の現役リーダー
- 次期課長・リーダー候補
- 中堅社員 など

会場

和歌山商工会議所 会議室
(和歌山市西丁丁 36)

受講料

- 会員 (全 3 回) **13,000 円**
- 一般 (全 3 回) **21,000 円**

定員

先着 **20 人** (お早めにお申し込みください)

講師

(株)日本人財研究所 代表取締役 **末村 誠規 氏**



昭和 60 年繊維メーカーに入社し、以来 24 年間人事労務部門に勤務。本社労政課長、人事課長、工場総務課長などを務める。その間、50 案件を超える収益改善策の立案、実行を指揮。また、人事処遇制度をはじめ、様々な人事労務施策・制度の構築・運用を行う。平成 21 年リ・マンショック後の合理化を指揮後、自らも退職し独立。その後、コンサルタント、講師として活動。平成 24 年より本会管理職養成講座の講師を務める。

和歌山県経営者協会 (担当: 筒井)



和歌山市十番丁 19 番地 Wajima 十番丁ビル 3 階
TEL: 073-431-7376 FAX: 073-422-0416
E-mail: tsutsuiy@w-keikyo.com

カリキュラム

【第1回】 H31. 1月25日(金) 13:30～17:00

- 人事労務部門のリーダーのあり方、日本の労働慣行の基本
 1. リーダーのあり方 ～企業の立場から、いかに考えるか～
 2. 日本の労働慣行
 - (1) なぜ解雇できないのか ～今も流れる労働慣行の底流を知る～
 - (2) 解雇権のかわりに会社が得た権限 ～指揮命令権の根拠～
 3. 事例研究・意見交換

【第2回】 H31. 2月22日(金) 13:30～17:00

- 健康問題への企業の基本スタンス、労働時間問題の本質と対応
 1. 健康問題の考え方の基本 ～社員の義務と権利から理解する～
 - (1) 健康問題で配慮するリスク ～安全配慮義務が会社に発生～
 - (2) 休職と復職は誰が認めるのか
 2. 労働時間問題の本質と対応 ～電通事件以降の変化を理解する～
 - (1) 労働時間管理はコストの問題から安全配慮義務の問題へ変化
 - (2) 長時間労働の是正に現実的に手を打つ
 3. 事例研究・意見交換

【第3回】 H31. 3月15日(金) 13:30～17:00

- 処遇問題の考え方、私達に変化を迫る様々な問題
 1. 日本の処遇制度の考え方
 - (1) 年功的賃金の意義
 - (2) 非正規雇用の位置づけ ～バブル崩壊、リ・マンショックによる変化～
 - (3) 同一労働同一賃金の本質的問題
 2. 企業に対応を迫る変化を考える
 3. 事例研究・意見交換

セミナーお申込み FAX : 073-422-0416 (和歌山県経営者協会)

▼ 下記にご記入の上、このまま FAX にてご送信下さい ▼

事業所名	
受講者氏名	所属・役職
TEL	メールアドレス (受講票送付先)
受講料について (○印)	① 当日持参 ② 銀行振込 銀行振込の場合は開催日前日までに下記口座にお振込みください。 紀陽銀行 本店営業部 普通預金 №45306 和歌山県経営者協会
メルマガ登録	月 1 回、経営者協会が開催するセミナーや就職フェアの情報をメルマガ配信しております。 配信を希望しない場合は右欄にチェック(レ点)をお願い致します。
	<input type="checkbox"/> 配信を希望しない

※ メールにて受講票をお送り致しますので、メールアドレスは忘れずにご記入ください。

※ メールでのお申込みの方は同内容を記載のうえ (tsudak@w-keikyo.com) までお送りください。

※ 申込書に係る個人情報については、県経営者協会の個人情報保護管理規定等に基づき、厳正に管理させていただきます。